

幼稚園の課程に關する 根本原則

アール、バーネス

米國式の幼稚園が主として統合主義の本に行はれて居ると云ふことは嘗て本誌第七卷第十一號昨年十一月に於て「幼稚園問題」の中に述べて置いた通りであるが、今又近着のキンデルガーテンレビュウを見たとアール、バーネスと云ふ人が多少趣を異にして然も米國風の幼兒教育論を寄せて居る、所論が充分に科學的でない、ない、と云ふ所が米國式の米國式たる所ではあるが讀みもて行くと申々面白いところがある、恐くは米國に於ける方今の幼兒教育論の一部を代表して居るものと見てもよからうかと思ふので今左に之を譯載し序に多少の評論を加へて見やうと思ふ。

(湘陽生)

過去に於ける幼稚園教育の課程は主として神學と哲學とに準據して定められたものであるけれども方今一般に承認される所の原則は被教育者其者に適切ならしむると云ふことである、此直接に子供其れ自身に關係して理論と方法を組織し子供の自然性を認識して其自然の要求に應ぜんとすることは實に我幼稚園教育の誇りとするところであつて

其成功は此基礎に關する意識と基督教的獻身の結果であるし其失敗は人性自然に有する一般の誤謬より生ずるものである。過ぐる二十年間に於て兒童に關する科學的研究は頗る盛んなものであつた。併し大体に於て研究の結果はフレイベルの教ふるるところと大差がない。且フレイベルの教へたと同様に兒童の教育的萌芽は早く其處此處に現はるゝことと教へて居る。因て吾人は今茲に最近の基礎的研究の見地に因りて幼稚園課程の原則を論述して見様と思ふのである。

今若し一人の科學者があつて六才以下の兒童觀察に従事したとしたならば先づ最初に彼の注意を牽くものは確に幼兒の驚嘆す可き活動性であらう。彼等は或はあへぎ、或はのたくり回り或は笑ひ、或は拍手し、或は匍ひ或は歩み或は喋べり或は泣き叫ぶ。若しドレウサー教授の如き研究家をして之を見させたならば單に彼等の半時間の活動を數へ立てる丈でも長い一記述を作つたに違ひ無いと思れる程彼等は活動するものである。併し此の如く亂雜極まれる幼兒の行爲に對する科學者の觀

察は多くは無益のもので其結果は何等の得る所もない。是が幾多の兒童研究書が専門家以外には無益無趣味の讀み物と云はれる所以である。

元來健全に發達し來れる幼兒の心と云ふものは時に遇然の刺激や誘惑で思ひの外の活らさを現はすことがあるとは云ふものゝ先づ一般に正しき一道の軌繩に耐うて活動して居るものである。そして其活動は暫時にして疲勞し來るものである。兒童の作業が永續することの出來ないのは之が爲めで幼稚園事業の教育的効果如何に關する論争の何時迄も盡さないのも是が爲めである。勿論幼稚園の最後の日に於ける幼兒と小學校入學當時の幼童とに於ては兩者の間に些少の差違をも存す可きではないけれども併し大體に於て幼稚園の幼兒と小學校の兒童とに於ては大なる差異あることを認めなければならぬ。そして夫等の差異が主として彼等の活動と其注意力とに關するものであることを認めねばならぬ。

次に科學的觀察者をして驚嘆せしむることは幼兒の社交上に關する慾望と其無造作なることである

非常に幼稚な乳兒でも彼等の傍に人の居ることを喜ぶが、甚だしきは初生の當時に於て既に暖かき柔かき寢床より母親の膝に眠ることを喜ぶものもある。斯くして幼兒の最初の一年間は動物若しくは其仔獸と同様なものであるが滿一年を經たる幼兒にして若し單獨生活を喜ぶものがあるとしたならば其は最も奇怪なる動物たらざるを得ざるものである。教育者が若し早く此社會性を認識し之に適當の施設を興へたならば幼兒の全生活は著しく發達するに違ひない。そして彼等が誰に管理され

ねばならぬか誰に従はねばならぬかと云ふことを遠に學ぶ様になる。第三年に入りたる幼兒は成人が書物を読み得る様に人の顔色を讀むことが出来る、そして六才に達する迄に多少部分的であるが其社會的經驗の大部に自身を同化することが出来る、此社會的感覚は幼兒をして著しく摸倣的に進歩しむるものである。吾々が考へる所のものをば彼等は悉く注意して居る。吾々が嘆稱する所のものをば彼等は單に感ずるのみならず、之を實行せんとするものである。吾人は嘆美する所、愛す

る所、成就する所に於て生活し得るものである。此の如き生活の結果は習慣を固定し理想を與へるので此理想は遂に幼児の模倣的傾向を阻止するのであるが幼児は且遊戲上に現る、一切の暗示に對しては頗る貪食者であるのみならず幼児の身心は柔にして不成型のものであり其理想は強き勢力を以て走るが故に幼児は常に想像的模倣的遊戲に於て己を實現せんとするものである。予が此頁を書ける折しも三人の幼児は庭に於て車を以て遊んで居つた。彼等は今丁度海上旅行をして居る。車は差し當り舟で先頭の子供はカピテンである。後から押し行く子供は自ら稱して水夫と名のつて居り最幼の一人は彼が幼稚なるが爲めに仲間はずれにされんとしたのを不平に思つて立派な一人前の水夫たらんことを強硬に要求しつゝあつた。スルト他の一人は説明して云ふには、お前は水夫ではないよ、お客さんだよ、サア此處に切符があるよ」と云つた。予は是等の數語を書き取つて居る間に船の仕度はすつかり出來上つて車の船は一人船長と一人の水夫とに因つて一人のお客さんを

載せて愉快げに庭の芝生の海に向つて出發して行つた、讀者は此等の遊戲に依つて幼児の活動性と云ふものが何んなものか其社會的要求はどんなものかと云ふこと及び其理想實現に關する彼等の注意と準備との何んなものであるかと云ふことを略ぼ了解せられたであらうと思ふ。而して是等未開の性質は以て吾人の働け可き地盤である。幼児教育の課程と云ふものは是等の個性に適合する様にされなければならぬものである。そして右課程は當然吾人が彼等幼児に對して要求する目的に向つて先導し誘導するものでなければならぬ。最も幼児の生活と云ふものは悉く一様のものではない。幼兒を保護する人の人生觀や其社會的的政治的意見の差異に因つて大に異なるものである。故に幼稚園は便宜上非教育者の從屬する生活の進行を助成するに都合よき進路を取らねばならぬ。近所が貴族的生活をなすつゝある人々の集れる所に於ける幼稚園ならば彼等の兩親が常に受けつゝある貴族的生活に適する様に注意されなければならぬ。之に反して細民窟に於ける幼兒ならば幼稚園は貧弱を

救助し改良する一機關として用ゐられなければならぬ。併し吾人が今茲に述べんとする所のものは一般世俗的平民的のものに就いていある。扱て以上述べ來つた様な性質を有する動物を教育して行かうと云ふには彼等の活動性に應じて行かなければならぬと云ふことは明かな事である。元來子供が教育されないと云ふことは誠に悲しむべきことであるが併し之を教育するとしても幼児の烈しき活動性を抑へて働かざらしめんとすることはより一層の悲しむべきことである。故に吾人は此幼児の活動性に應じて絶え間なき運動と遊戯とを供給し得る科程を採用しなければならぬ。是は組織せられたる屋内遊戯手工園藝庭園遊戯及遠足に於て其目的を達することが出来る。シカゴに於ける休養園の子供部に於ては幼児の活動性を増進することに大に努められて居つて廣き砂場やブランコやシーソーなどのある廣き草地等が際限なき活動の發達を助けて居る。併しながら此の如き幼児の活動は寧ろ教育の見地より見るときは厭ふべきものである。遊戯は活潑に活動性を維持する

けれども仕事は此斷片明なる活動を意味ある關係に組織せんとするものである。休養園は純粹に無用の勢力の放散所である。併ながら幼稚園の存在を正當とする限りは幼児の生活をして形あるものとしなければならぬ。茲に於て吾人は教育上の一一般の矛盾に遭遇せざるを得ぬ。即ち吾人は一方に故障なき始めを維持し其活動性を損傷せざる用意を必要とすると共に他方には尙ほ生活上に深き價値を有し得る様其欲望を整頓し其活動性を誘導するの必要を有するものである。欲望を整頓することゝ活動性を導くことの二つものは恰も船に對する風と舵との如きものである。風なくしては船は動くに由なく舵なくば船は目ざすところに行き難きものである。斯くして幼児の活動性を誘導せんとすることが吾人幼稚園教育者の任務であるとしたならば此目的を達する方法としては主として習慣と稱せらるゝ所のものを組織することに因りて行はれなければならぬ。(續く)